

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	一人ひとりを大切にしたい見守りのなかで安全面を確保し、施設による閉塞感・圧迫感を感じないよう配慮した取り組みに期待したい。	帰宅願望のある利用者に(安心)への声掛けを行い、利用者が自グループホームで安心・安全に暮せるように支援する。	利用者が安全に暮していけるように声掛けし、安心して生活できるように支援する。 出入口を開放する時間帯をつくり、自由に行き来できるように支援する。	12ヶ月
2	35	今後は夜間を想定した災害の訓練も考えているとのことであり、実施できることが望まれる	夜間の災害等が発生した場合を想定し、利用者の避難訓練等を行い、実際に災害がおきた時、利用者の安全が確保される。	災害が発生した時の避難場所や避難方法を話し合い災害対策を徹底しておく。 避難する際に、利用者に転倒・転落等の事故に注意する。	12ヶ月
3	40	本人のできることに、したいことを配慮して、職員と一緒に生活の中の食事を楽しむことができるような支援が望まれる。	利用者一人一人が役目を持ち、食事が作れるようになる。	事故に注意し、利用者が準備・調理・後片付けをできるように職員が間に入り、出来ないところを補助して行く。 感染予防の為に手指消毒を行う。 包丁等は危険であり、使用する際に職員が見守り、声掛けを行なう。	ヶ月
4	52	装飾や日常の中にある本や小物、道具類などの配置などを工夫し、生活感のある住まいとしての居心地のよさにも配慮した空間づくりに期待する。	利用者一人一人の居住空間を大切にし、その人らしい生活を充実していく。	グループホームに住んでいても自宅に居るかのよう安心して生活できるように支援していく。 家具の配置を考え、個々のADL低下にならないようにする。又事故や、危険を未然に防ぐ。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。